

2020年7月7日

セコム株式会社

GPIF が採用する 4 つの ESG 投資指数すべてに選定

～環境・社会・ガバナンスへの継続した取り組みに高評価～

セコム株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：尾関一郎）は、このたび、GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）が日本企業への ESG（環境・社会・ガバナンス）投資にあたり採用している 4 つの指数すべての構成銘柄に選定されました。

【GPIF が採用する 4 つの ESG 指数（ GPIF 「2018 年度 ESG 活動報告」 より）】

① FTSE Blossom Japan Index

世界有数の歴史を持つ FTSE の ESG 指数シリーズ。FTSE4Good Japan Index の ESG 評価スキームを用い、ESG 評価の絶対評価が高い銘柄をスクリーニングし、最後に業種ウェイトを中立化した ESG 総合型指数

② MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数

世界で 1,000 社以上が利用する MSCI の ESG リサーチに基づいて構築し、様々な ESG リスクを包括的に市場ポートフォリオに反映した ESG 総合型指数

③ MSCI 日本株女性活躍指数(WIN)

女性活躍推進法により開示される女性雇用に関するデータに基づき、多面的に性別多様性スコアを算出、各業種から同スコアの高い企業を選別して構築した指数

④ S&P/JPX カーボンエフィシエント指数

環境評価のパイオニア的存在である Trucost による炭素排出量データをもとに、世界最大級の独立系指数会社である S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが構築した指数

セコムは、「社会にとって有益な事業を行う」という基本理念のもと、1962 年の創業以来、社会で暮らす上でなくてはならない「安全・安心」で「快適・便利」なサービスを提供しています。

一方、「企業と社会が共に持続的に発展することが重要である」という考え方を根底におき、セコムグループ全体で温室効果ガス排出量削減をはじめとする環境課題への対応、女性の活躍推進、「安全・安心」のノウハウを生かした地域コミュニティ活動、ガバナンスの強化、情報開示の拡充などの取り組みを進めてきました。

これらの継続した取り組みと成果が高く評価され、今回、GPIF が採用する 4 つの ESG 投資指数すべてに選定されることとなりましたが、これからもさまざまな社会課題の解決に貢献し、社会とともに持続的に成長する企業グループを目指していきます。

※ 世界的な ESG 指数として企業の持続可能性に関心を持つ投資家や RI ファンドに選択されている「FTSE4Good Index Series」にも選定されました。

■ 参考：セコムのサステナビリティへの取り組み

<https://www.secom.co.jp/corporate/csr/>

【報道関係者からのお問い合わせ】

セコム株式会社 コーポレート広報部 井踏、竹内

TEL：03-5775-8210 E-mail：press@secom.co.jp